

### 《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

#### ◆上場廃止、25年も最多ペース 基準猶予期間あと1年

・東京証券取引所を上場廃止する企業が過去最多ペースで推移している。2025年1～3月は予定も含めて31社と、1～3月として2年連続で最多となった。東証の市場改革を背景に、他社に買収されたり自ら株式を非公開化したりする企業が相次ぐ。企業の新陳代謝が進めば、投資マネーを呼び込む原動力となる。

#### ◆2月の消費2.6%増、外食や食料品好調 民間調査

・ナウキャストとJCBはクレジットカード決済額に基づく2月の消費データを発表。名目の総合指数は前年同月比2.6%増えた。外食や食料品が伸びたものの、全体の増加率は1月の5.9%からは縮小。モノの消費は1.5%増。コメなどの値上がりが目立つ飲食料品小売業(2.4%増)の伸びが目立った。

#### ◆男女の賃金格差、24年は最小 正社員での就労が進展

・厚生労働省が発表した2024年の賃金構造基本統計調査によると、男女の賃金格差は過去最小。男性の賃金を100とした時の女性の指数は75.8と前年より1ポイント上がり、過去最高。正社員で働く女性が増え、男女の賃金差が縮小。指数の上昇は2年ぶり。

### 《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

#### ◆山善、海外売上高「27年度1200億円」インド拠点など拡充

・機械商社の山善の岸田貢司社長は日本経済新聞の取材に応じ、海外売上高を「2027年度までに1200億円」にする目標を明かした。23年度実績の810億円から48%引き上げる。営業担当や技術者を中心に海外人員を200人増やす。成長が期待できるインドやインドネシアなどの拠点を拡充して工作機械の受注拡大を目指す。

#### ◆分譲マンション賃料が最高 東京23区、2月2.8%高

・不動産調査会社の東京カンテイが発表した2月の分譲マンション賃料は、東京23区が前月比2.8%高の1平方メートル当たり4452円だった。3カ月連続で上昇し、調査を始めた2004年1月以降の最高値を更新。分譲マンション賃料は、住戸を持ち主が貸し出す際に設定する。

#### ◆老朽化マンションの管理・再生円滑化へ 改正法案が閣議決定

・老朽化マンションの管理・再生円滑化のための改正法案が3月4日に閣議決定され、「マンション管理法」「マンション再生法」「区分所有法」の一部が見直された。適正な管理を促す仕組みの充実、多様なニーズに対応した建替えの推進、新たな再生手法の創設などを行い、マンション再生の円滑化を図る。

### 《 注目商品 》

#### ■コロナ、高圧力パワフル給湯タイプ おひさまエコキュート

・太陽光発電を搭載した住宅の余剰電力を活用し、昼間の時間帯に沸き上げ運転を行うヒートポンプ給湯機。ガス給湯器と比べると給湯光熱費を約61%節約し、CO2排出量を約78%抑えられる。給湯圧力を従来機種の約1.5倍に高めた高圧力パワフル給湯タイプ。



#### ■ネクストエネルギー・アンド・リソース、狭小住宅向け太陽電池モジュール

・日本の屋根事情を考慮し、屋根面積の小さい既築や新築住宅向けに小型化した太陽電池モジュール。従来製品より約56%小型化したメインモジュールと、サブモジュールを組み合わせることで、限られた屋根面積を有効活用したレイアウトが可能。



#### ■奥行14.5cm、ラフに置いてもモノが整う壁付け収納

・toolboxは、日用品を気軽に並べて置ける壁付け型の収納棚「レギュラーシェルフ」を発売。キッチン、ダイニング、リビング、洗面、トイレなどに設置しやすい壁付け収納棚。奥行き14.5cmと浅いため、日常使いのアイテムを横一列に並べ、美しく整う。

